

科目名	英語 2				
授業形態	演習	学年	1		
開講時期	2021 年度 後期	単位数	2		
担当教員	若林 達司				
内容および計画	<p>会津大学短期大学部教養基礎科目の国際コミュニケーションカテゴリーには、英会話やフランス語の他に英語科目が4つ設置されています。「英語Ⅰ」はリーディング（読解）を中心にして文法事項の確認やリスニング、発音を含んだ総合的な内容となっています。「英語Ⅱ」は発展的な文法の授業、「英語Ⅲ」はリスニングトレーニングを行うための授業、最後に「英語Ⅳ」は発音練習に特化した授業という位置づけを行っています。学生はこれらの位置づけを理解した上で自分に最適な科目を選択するようお願いします。</p> <p>学生が英語の分を理解する際のひとつの困難は文法（表現上の規則）です。これまでの英語学習で十分に理解できなかった点や、多用される表現方法などを重点的に説明します。また、授業では文法の解説ばかりではなく、発音やリスニングなど語学の4技能を総合的に伸ばすトレーニングを取り入れて理解を深めます。</p>				
1	名詞句について －不定詞句、形式主語、形式目的語				
2	名詞句について －動名詞、疑問視+to 不定詞、whether to ～				
3	名詞節について －that 節、関係代名詞 what の節				
4	名詞節について －疑問詞節、if/whether 節、複合関係詞節				
5	形容詞句について －不定詞句、現在分詞や過去分詞を用いた句				
6	形容詞節について －関係代名詞節				
7	形容詞節について －関係副詞節、強調構文				
8	副詞句について －不定詞句、付帯状況を表す句、前置詞句				
9	副詞句について －分詞構文				
10	副詞節 －接続詞：目的、時、理由、条件、譲歩、様態				
11	副詞節 －接続詞 whenever など、no matter how など				
12	副詞節 －仮定法：過去、過去完了、未来				
13	動詞相当語句の練習と習得 －熟語として知られている動詞句をまとめて練習します				
14	知覚動詞 －知覚動詞を用いた構文の受動態を中心に練習				
15	使役動詞 －使役動詞を用いた構文の受動態を中心に練習				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	Understanding and Using English Syntax	Akihiko Haisa, Gary Bourke	Asahi Press	978-4-255-15651-4	2002

参考書				
成績評価				
	評価方法			割合(%)
	提出物（授業において課題内容を示します）			70
	小テスト			30
学習到達目標	TOEIC500点レベルの英語力を到達目標に設定します。			
先修条件	特にありません。 「英語Ⅰ」は前期のみ設定、「英語Ⅱ」、「英語Ⅲ」、「英語Ⅳ」は後期のみを設定しています。各学科の卒業要件に沿って必要な単位数を確保できるように時間割の編成をしてください。			
実務経験				
その他	学生はインターネットをはじめとしたメディアを利用して様々な方法で問題解決に臨んでください。			